学校番号	３０２２

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「美術２」（光村）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

１、１年次の本校「美術」学習で得た表現力と創造性および鑑賞の能力をもとにして、より高度で多様な表現力を身につけてください。同時に優れたプレゼンテーション能力も身につけましょう。
２、１年次の発想方法の訓練とその具体化への方法を、より確かな表現力・創造力に育てます。
３、身につけた基礎的な描写力や構成力・表現力を、これからの様々な局面で応用できる汎用性の高い能力として定着させてください。

２　学習の到達目標

１、教材を総合的・学際的に扱い、芸術領域にとどまらない広い視野に立ち、美術の意味、芸術の本質を常に意識できる生徒を育成する。
２、文化領域としての美術・工芸を国際的視野と歴史的観点に立って理解できること。
３、発想方法の訓練からその具体化へのプロセスを体験し、確かな表現力・創造力を組織的、体系的に育成する。
４、描写力や構成力といった基礎的な表現力をつけ、高校後の多様な専門教育に対応できる高度の能力を育てる。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

	a:美術への関心・意欲・態	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	力強い表現力をつけようとする意欲。 教材を総合的・学際的に考える能力。 芸術領域にとどまらない広い視野に立った表現方法への興味と取り組み。 国際的視野と歴史的・伝統的観点。	発想の具体化のプロセスを経験し自分のものにできたか。 表現を楽しみ、描く作ることの面白さを感じることができたか。 美しい色、機能的な形、説得力のある表現形態を創造できたか。	創造力と技能は相互補完的な働きをする。 表現に必要な技能が身についたか。 表現に自分らしさや工夫が見られるか。	他人とは違う、自分らしい見方ができているか。 鑑賞が実作に反映できているか。 文化遺産・伝統芸術への関心を持ち、知識としての蓄積が見られるか。
評価方法	制作への準備 制作態度 提出物の充足度 制作物の扱い	提出物 　制作途中のラフスケッチやアイデアスケッチの数量と内容 完成作品の観点別評価 　指導内容との整合性・充足度の段階的評価 制作物の密度	制作途中の作品や提出物について、予想以上の成果を期待し、より積極的に評価する。 技術的な成果、精緻な表現等について評価。	鑑賞レポート 作品制作のための研究段階での参考作品調査と鑑賞の豊富さ。

上に示す観点について、学期ごとに数値による評価をし、学年末に５段階の評定にまとめる。
また、授業成果は、適宜校内ギャラリーで、芸術発表会ギャラリー部門として展示公開する。

４、学習の活動

Ⅰ学期	百人一首を描く　油画	・百人一首から興味のある一首を選びイメージをドロウイング 超現実主義的表現で描く ラフスケッチ→エスキース 透明水彩での着彩	○	○			a 豊かなイメージと意欲 構成要素のリストアップ b 豊かな発想や構想の能力	エスキース
		・板貼キャンバスにドロウイング エスキースから発展的に		○			b 空間の構成力 c 組み合わせの面白さ	途中経過
		・油彩での着彩		○	○		b 発想の豊かさ　表現力 c 構成力　色彩の豊かさ	提出作品
	金属版画　メゾチントの制作	・銅版画の種類と歴史の研究 メゾチント作品観賞 他版種との比較検討 独特の表現形式・方法の理解	○	○			a 版画への興味 b 版の種類の理解	学習活動の観察
		・ラフスケッチ→原画		○	○		b 版の系統的論理的思考力 c 総合的構成力・空間把握力	提出物
		・製版			○	○	b 洞察力・推理力・巧緻性 明暗の微妙な変化の表現 c 用具を使いこなし微妙な変化を表現する	製版状態
		・印刷　乾燥 サイン　プリントナンバー	○				a 丁寧な印刷　増刷の意欲	提出作品
	鑑賞	・展覧会鑑賞レポート 質の高い展覧会を選ぶ （１件以上）	○				a 鑑賞力・洞察力・観察力 自作への応用 歴史的・文化史的観点	提出物

Ⅱ学期	フィギュア 想像上の生物	・人物や動物の彫刻を調べる 彫刻の鑑賞と制作のための研究 自作のイメージを検討	○				a 架空の静物の イメージをまとめる	学習活動の観察
		・ラフスケッチ→最終案の制作 正面図と側面図 心棒の配置を描き込む		○	○		b 発想とドロウイングの反復 c 独創的な形態の創造 表面形態についての 構造の正確な配置	提出物
		・心棒の制作 重心と肉付けを考えた構造			○		c 重心と構造を考えながら制作	途中経過
		・フィギュアの制作 心棒に石塑粘土で制作 イメージの実作化			○	○	b 空間の理解と イメージの的確な具体化 c 独創的な形態の創出	提出作品
	構想表現 フィギュアとその風景	・２学期前半で制作した フィギュアが存在する架空の 情景の絵画表現 生徒作品の鑑賞	○			○	a 架空の情景について 参考作品の研究 d 参考作品についての洞察	学習活動の観察
		・ラフスケッチとエスキース制作		○	○		b 発想とドロウイングの反復 c 独創的な情景の創出 総合的構成力・空間把握力	提出物
		・板貼キャンバスにドロウイング エスキースから発展的に					b 奥行きのある空間の表現 c 組み合わせの意外性	途中経過
		・油彩での着彩					b 発想の豊かさ　表現力 c 構成力　色彩の豊かさ	提出作品
	鑑賞	・展覧会鑑賞レポート 質の高い展覧会を選ぶ （１件以上）	○				a 鑑賞力・洞察力・観察力 自作への応用 歴史的・文化史的観点	提出物

Ⅲ学期	想定問題演習	・参考作品の研究	○				a 問題解決への推理・洞察	学習活動の観察
		・提示された内容を具体的な形に 表現するための条件の理解		○	○		b 仮想・構想空間の具象的表現 c 条件を独創的に展開する	提出物
		・３面図から見取り図を起こす					c 矛盾のない立体表現	提出物
		・過去に出題された 建築関係・造形工学などの入試 問題を演習		○	○		b 柔軟な発想からの条件の充足 c 提示された問題への解答として の独創的な表現　描写力	提出作品
		・プレゼンテーション 作品を提示しての提案作業・	○	○			a 自作についての理解と説明 b 説得力	プレゼンでの発言内容